

## 第4回 島根県中学校西部柔道大会 開催要項

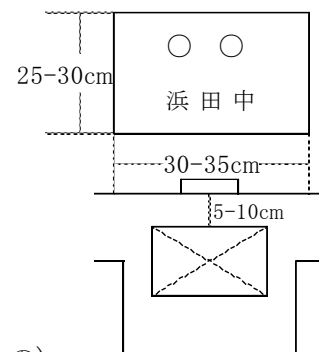
- 1 目的 この大会は、中学校教育の一環として、中学校生徒に広く柔道実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツの精神の高揚をはかり、心身共に健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の親睦をはかるものである。
- 2 主催 島根県中学校体育連盟 島根県教育委員会 浜田市教育委員会 大田市教育委員会  
江津市教育委員会 川本町教育委員会 美郷町教育委員会 邑南町教育委員会  
益田市教育委員会 津和野町教育委員会 吉賀町教育委員会
- 3 主管 浜田市中学校体育連盟 島根県中学校体育連盟柔道専門部
- 4 後援 島根県中学校長会 (公財) 島根県スポーツ協会 (一財) 島根県教育互助会  
島根県柔道連盟 西地区柔道連盟
- 5 期日 令和8年6月4日(木) 開始式 9時30分
- 6 日程 令和8年6月4日(木) 「団体戦(男・女)個人戦(男女全階級)」  
開場 8:00  
受付 8:00 ~ 8:30  
非公式計量 8:10 ~ 8:30  
公式計量 8:30 ~ 9:00 (個人戦の未計量者は団体戦終了後直ちに実施)  
審判監督会議 9:10 ~ (役員集合 8:50)  
開始式 9:30 ~  
競技開始 9:50 ~  
表彰式 15:00 ~ (予定)
- 7 会場 島根県立石見武道館 〒697-0024 浜田市黒川町3735番地 Tel 0855-23-7170
- 8 参加資格 (1) 島根県中学校体育連盟内規事項の全般事項【参加資格】による。  
(2) 島根県中学校体育連盟に加盟し、島根県西部内の中学校(浜田ブロック、益田鹿足ブロック)に在籍している中学生で、校長が参加を認めた者。  
また、島根県中学校体育連盟および浜田・益田鹿足ブロック内の市郡中学校体育連盟に申請し、参加資格を認定された地域スポーツ団体等に在籍している中学生。  
(3) 6ヶ月以上の柔道経験があり、試合に耐えうる技能、体力を有する者。
- 9 大会負担金 (1) 登録選手 1人につき、**1,000円**  
(2) 参加申込締切以降の参加取り消しや不出場の場合、負担金の返金を行わない。
- 10 参加制限 (1) [男子団体戦]  
◆1チーム7名(選手5名・補員2名)以内とし、監督・コーチ(外部コーチも可)各1名とする。  
◆チーム編成は、最も体重の重い者を「大将」とし、以下順次体重順とする。  
補員をいれた場合も同様に、体重順とする。一度退いた選手は、出場することはできない。  
(2) [女子団体戦]  
◆1チーム5名(選手3名・補員2名)以内とし、監督・コーチ(外部コーチも可)各1名とする。  
◆チーム編成は、最も体重の重い者を「大将」とし、以下順次体重順とする。  
補員をいれた場合も同様に、体重順とする。一度退いた選手は、出場することはできない。

- (3) [男子個人戦] ※人数制限無し
- |       |                |        |                |
|-------|----------------|--------|----------------|
| 50kg級 | (50kg以下)       | 55kg級  | (50kg超～55kg以下) |
| 60kg級 | (55kg超～60kg以下) | 66kg級  | (60kg超～66kg以下) |
| 73kg級 | (66kg超～73kg以下) | 81kg級  | (73kg超～81kg以下) |
| 90kg級 | (81kg超～90kg以下) | 90kg超級 | (90kg超)        |
- (4) [女子個人戦] ※人数制限無し
- |       |                |        |                |
|-------|----------------|--------|----------------|
| 40kg級 | (40kg以下)       | 44kg級  | (40kg超～44kg以下) |
| 48kg級 | (44kg超～48kg以下) | 52kg級  | (48kg超～52kg以下) |
| 57kg級 | (52kg超～57kg以下) | 63kg級  | (57kg超～63kg以下) |
| 70kg級 | (63kg超～70kg以下) | 70kg超級 | (70kg超)        |
- (5) 脳振盪対応について  
選手および指導者は下記事項を遵守すること。
- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
  - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。(なお、至急専門医(脳神経外科)の精査を受けること。)
  - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
  - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。

## 11 競技規則

- (1) 国際柔道連盟試合審判規程「少年大会試合審判規程」「日本中学校体育連盟柔道競技部主催大会申し合わせ事項」による。
- (2) 柔道衣は白色とする。
- (3) 有段者は黒帯を用いること。
- (4) 柔道衣に規定のゼッケン(学校名、名字入り)を縫い付けて出場すること。
  - ① 布地は白地(晒、太綾)
  - ② サイズは横30～35cm、縦25～30cm
  - ③ 名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3
  - ④ 書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書体でも可)
  - ⑤ 男子は黒色、女子は濃い赤色。
  - ⑥ 縫い付け場所は襟から5cm～10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。

※(公財)全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣・下穿・帯)を着用すること。(新規格の赤色のマーキングのもの)
- (5) 女子は、上衣の下に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツまたは半袖のレオタードを着用すること。  
※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規程(平成25年度4月1日より施行)に準ずる。具体的には以下のとおり。
  - ① 色は白、半袖、丸首であること。
  - ② 製造業者マークは、最大20cm<sup>2</sup>のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。
  - ③ 所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大100cm<sup>2</sup>とする。
  - ④ いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。
- (6) 柔道衣コントロールの際は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。



## 12 競技方法

- (1) 団体戦
  - ① 予選リーグ、決勝トーナメント戦を行う。
  - ② 試合時間は3分間とし、代表戦における延長戦(ゴールデンスコア)は無制限とする。
  - ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差(『指導』の差2)」とする。
  - ④ 優劣の成り立ちは以下のとおりとする。

「一本」＝「反則勝ち」＞「技あり」＞「有効」＞「僅差」

- ⑤ リーグ方式では、チーム間の内容が同等の場合は引き分けとする。また、リーグ方式の順位は次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち、引き分け、負けの率による。
  - イ アにおいて同等の場合は、勝ち数の合計による。
  - ウ イにおいて同等の場合は、勝ちの内容により決定する。
  - エ ウにおいて同等の場合は、負け数の合計による。
  - オ エにおいて同等の場合は、負けの内容により決定する。
  - カ オにおいて同等の場合は、1名による代表戦を1回行い、決勝トーナメント方式への出場チームを決定する。  
(3校同等の場合は、代表者3名によるリーグ方式を行う。)
- ⑥ トーナメント方式の勝敗は、次の方法によって決定する。
- ア チーム間における勝ち数による。
  - イ アにおいて同等の場合は、内容により決定する。
  - ウ イにおいて同等の場合は、1名による代表戦により決定する。
- ⑦ 代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦で得点差が無い場合は、延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。
- ⑧ 代表戦で両者反則負けの場合には、チームは次の試合に進めない。
- (2) 個人戦
- ① 各階級ともトーナメント戦とする。  
(参加人数によっては、リーグ戦とすることもある。)
  - ② 試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
  - ③ 勝敗の判定基準は、「一本」「技あり」「有効」又は「僅差（『指導』の差2）」とする。得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
  - ④ 両者反則負けの場合には、次の試合に進めない。
  - ⑤ 選手には、監督・コーチのどちらか1名は付き添うこと。
  - ⑥ リーグ戦の場合の順位決定は、次の方法によって決定する。  
[各試合ともゴールデンスコア方式により必ず勝敗を決定する。]
    - ア. 勝ち負けの率による。
    - イ. アにおいて同等の場合は、勝ちの内容による。
    - ウ. イにおいて同等の場合は、負けの内容による。
    - エ. ウにおいて同等の場合は、直接対戦の結果による。
    - オ. ウにおいて、3名以上が同等の場合は、抽選によるトーナメント戦で再試合を行う。

### 13 参加申込

#### ①参加申込書(Excel ファイル)

申込書を島根県中学校体育連盟ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、下記アドレスにメールで送信する。正式の申込書(代表者印を押印したものは、下記住所に郵送するか、スキャンしたものを(PDF)を下記アドレスに送信する。

〒697-0024 浜田市黒川町3745 浜田市立第一中学校内  
島根県中学校西部柔道大会事務局 坂本 亮太 宛  
TEL(0855) 22-0946 mail: r-sakamoto@hamada.ed.jp

※正式の申込書をPDFで送付した際は、申込書原本を監督会議の際に大会事務局に提出すること。

#### ②大会負担金

県中体連より各学校へ直接メールで通知される「県中体連主催大会 大会負担金送金先指定口座 一覧」を確認し、納入する。

※大会負担金の振込手数料については、参加校で負担すること。

③大会負担金送金通知書(Excel ファイル)

島根県中学校体育連盟ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、下記アドレスにメールで送信する。

浜田市中学校体育連盟事務局 稲田 慎也 宛 mail : [s-inata@hamada.ed.jp](mailto:s-inata@hamada.ed.jp)

**提出締切 5月15日(金)必着(①②③すべて)**

14 組合せ 5月22日(金)に浜田市立第一中学校にて主管中体連が抽選を行う。

15 表彰 団体の部、個人の部各階級とも3位まで表彰する。

16 計量について (1) 公式計量の前に非公式計量(仮計量)を行う。  
(2) 非公式計量では、指定時間内に自由に体重を測定することができる。  
(3) 公式計量は指定された時間内に1回とし、再計量は一切認めない。  
(4) 公式計量の服装は、男子は下穿、女子はTシャツと下穿の着用を認める。  
なお、下着の着用は認めるが、包帯・サポーター等の着用は一切認めない。  
① 団体戦 (ア) チームごとに登録選手全員が下穿を着用し、測定を行うこと。  
(イ) 順番の入れ替え等があった場合は計量担当より、審判・監督会議で通知する。  
② 個人戦 定められた階級の体重区分内にはないものは失格とする。  
※ 別室計量が必要な者は、あらかじめ申し出ること。

17 その他 (1) 競技中の疾病、傷害については、応急処置を行う。  
(2) 選手申し込み後、団体の部・個人の部ともに登録選手の変更は認めない。  
(3) 前年度、カップを授与されたチームは、開始式の際必ず返還すること。

**前年度優勝チーム** 《団体》男子：益田市立益田中学校 女子：浜田市立三隅中学校

(4) 服装点検は、開始式終了後に当該審判員により行う。  
(5) 監督・コーチは、原則として審判・競技役員を行う。  
(6) 個人情報のうち、大会運営上必要である名前、学年、所属、階級、体重については公開する。また、報道機関に記録の提供を求められた場合は提供する。  
大会申込用紙に下記の文書を入れ確認をとることとする。  
「上記の生徒は、本大会の参加について保護者の同意を得ているので、参加を申し込みます。また、本大会プログラム作成及び成績上位者の報道発表並びにホームページにおける氏名、学校名、学年等の個人情報の記録について、本人及び保護者の同意を得ています。」  
(記載の同意が得られない場合は、備考欄に「否」を記入すること。)

注・・・校長が認めた者(外部指導者)については所定の様式により、4月末日までに規程に沿って提出をすること。また、登録する場合は、追加用(様式3)の用紙を参加申込書とともに一部は大会事務局、一部は島根県中学校体育連盟事務局へ提出すること。(団体戦・個人戦を含め各校1名以内とする)

18 連絡先 (1) 大会開催前 〒699-3225 浜田市三隅町古市場1991 浜田市立三隅中学校内  
島根県中学校西部柔道大会事務局 谷口 一真 宛  
TEL (0855) 32-0062 mail : [k-taniguchi@hamada.ed.jp](mailto:k-taniguchi@hamada.ed.jp)  
(2) 大会期間中 〒697-0024 島根県浜田市黒川町3735  
島根県立石見武道館内 大会本部  
TEL (0855) 23-7170